

一本杉通り復興ニュース No.4

2024.12.1 一本杉通り振興会

「一本杉通りの復興方針」の中間発表を行いました

11月4日に「一本杉通りまちの未来を考える会」を開催し、これまで議論してきた復興方針の案を、地域のみなさまにご報告しました。

また、後半のパネルディスカッションでは、七尾のまちなかや一本杉通りの将来について、会場のみなさまも交えて議論しました。



パネルディスカッションの様子

もとに戻すだけでなく、もとよりいいものを作ろう。住んでいる人がいる街の文化や商売が魅力。

関心のある人たちはたくさんいるので、今の状態でどんどんお迎えして見てもらうような外への発信をするフェーズだと思う。

最終とりまとめまでは、みんなでどんどん言いたいことを言って、決めたらそこに向かってみんなで進むことが大事。

意見シートも含め、中間とりまとめに多数のご意見をいただき、ありがとうございました。

シャギリなど伝統的なものの引き継ぎを通じた地域とのつながりを大事にしたい。

住んでいる人がいる通りなので、コミュニティの視点も大事。

参加者の方から



安全な道路が欲しい。倒壊した家のそばを子どもが歩いていてヒヤヒヤする。

私は七尾出身で金沢に住んでいるので、完全な外の人ではない存在。自分のスキルを七尾でどう活かせるのか悩ましい。

他の地域では地域を出た若い世代がまとまって、支援活動をしている。そういうネットワークを活かすことも一案。

参加者の方から

一本杉通りに住まう目線で復興方針を話し合いました

11月23日に行った第5回の話し合いは、御祓地区コミュニティセンターにて御祓地区の模型と一本杉通りの模型を眺めながら議論しました。

復興方針の中間発表に対していただいた意見を振り返り、特に一本杉通りの住まいの場としての側面について議論しました。さらに議論を重ね、復興方針案をよりよくしていきます。



「中間とりまとめ」に対する

ご意見を募集しています

10月末にまとめました中間とりまとめはQRコードからご覧いただけます。(内容は最終とりまとめまでに変更される可能性があります。)

中間とりまとめに対するご意見を引き続き募集しています。ご意見フォームからお寄せください。

2024/10/30

一本杉通りの復興方針 中間とりまとめ

2024.10.一本杉通り振興会

一本杉通り振興会では、一本杉通り独自の復興方針づくりを7月より始めました。一本杉通りにお住まいの方、事業をされている方、そして多く関わってくださっているみなさまからも広く意見を募り、それらを反映した最終とりまとめを12月に予定しています。ここでは、これまでの議論を基づく「中間とりまとめ」をお示しいたします。

1. 「一本杉通りの復興方針」をつくるねらい

一本杉通りは、石川郡七尾市の中心市街地に位置し、数多くの登録有形文化財が残り、歴史情緒のある通りです。住まいと賑わいが一体となり、伝統文化、芸術、食などに関わる多様な取り組みを長年積み重ねてきました。震災発生直後により大きな被害を受けたが、21日から復興ワークショップを開催するなど、再建に向けて動き出しています。

私たちは、「一本杉通りの復興方針」策定により、一本杉通りにかかわる多くの方と、このまちのことが思い深く将来像を共有し、実現したいと考えています。皆様のご意見を聞き取りたいと考えています。皆様のご意見を聞き取りたいと考えています。

なお、方針が関わる主な地域としては、一本杉通り及び一本杉通り周辺振興会の事業範囲が適用される予定です。

「一本杉通りの復興方針 中間とりまとめ」に対するご意見、一本杉通りの将来について思っていることやお考えのことを、ぜひお聞かせください。(中間発表の会場では紙の「ご意見カード」も用意しております)

ご意見フォーム

「中間とりまとめ」
をダウンロード
(PDF)



ご意見フォーム



<https://forms.gle/NxbKtmQ5V899WXDd9>

これからの予定

第6回の話し合いは、2024年12月21日(土)19時から 寄合い処みそぎにて復興方針の内容を議論します。

話し合いへの参加を希望される方、ご意見がある方は、一本杉通り振興会 高澤までぜひご連絡ください。

企画：一本杉通り振興会 (連絡先：53-0406)

作成：東京都立大学 益邑 明伸 (連絡先：masumura@tmu.ac.jp)